

「専修学校フォーラム2016」 参加者アンケート結果

(平成28年2月8日、9日)

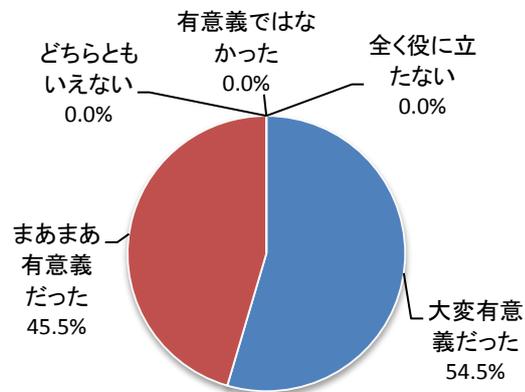
●参加者数: 165名
●回答者数: 20名
●回答率: 12.1%

一般社団法人全国専門学校情報教育協会

問1. 全体会について

1. 基調講演「大学におけるグローバル化と人材育成について」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	6	54.5%
まあまあ有意義だった	5	45.5%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	11	100.0%

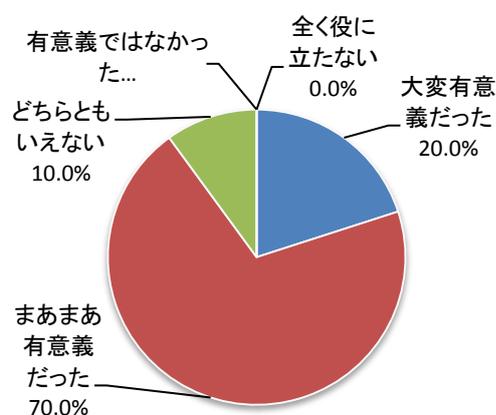


《 評価の理由 》

- ・「GLOCAL」という言葉にインパクトを受けた。福岡における「GLOCAL」を検討したい。
- ・専門学校のあるべき人材像に関心があるため参加
- ・資料とスライドが相互性があり分かりやすかった。
- ・大学改革の流れが分かりやすかったので(導入)その後の内容が理解しやすかった。
- ・大変貴重な内容であり参考になった。
- ・今後の大学のあり方の指針として大変有意義だった。
- ・将来的な見通しを知ることができ、また、教育現場の今後のあり方について考える事ができました。
- ・グローバル化の取り組みについて、フレームワークとしての視点を紹介頂けたのが良かった。
やはり、取り組みは包括的であるべきと感じた。

2. 基調講演「企業におけるグローバルで通用する人材とは、また育成の事例」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	2	20.0%
まあまあ有意義だった	7	70.0%
どちらともいえない	1	10.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	10	100.0%

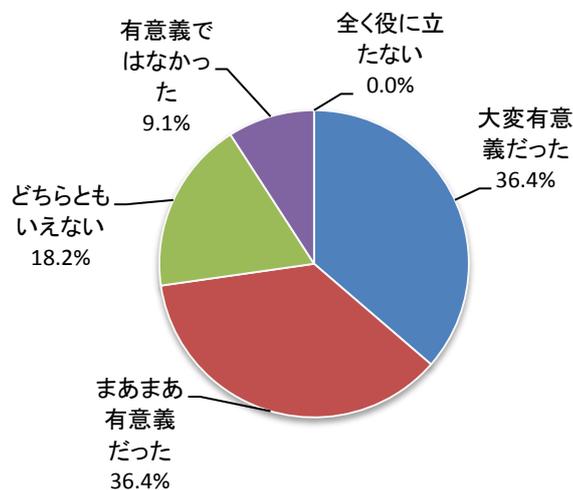


《 評価の理由 》

- ・オフショア開発の成功事例を聞くことが出来、異文化の理解が重要であることを考えさせられた。
- ・専門学校のあるべき人材像に関心があるため参加
- ・異文化対応力の重要性、難しさについて参考になった。
 現実に本校学生・卒業生が就職する現場で異文化対応力が必要な場面が少ないため。
- ・人材育成の方法論として有効だと思うが、「異文化対応力」を除けば本来は大学や専修学校レベルで身につけて入社するべきではないか。
- ・コミュニケーション論に終始した感がある。実際の研修の内容（コーティングなど）の課題なども開かせてもらったら…
- ・外国語の習得の壁は意外と低く、慎重に考えすぎていました。
 情報系専門学校でのカリキュラム作成の為に役立ちそうです。
- ・教育機関としては、モチベーションのちがいがありませんが、PBLや現地での研修の重要性が理解できました。

3. パネルディスカッション「グローバル化と職業教育」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	4	36.4%
まあまあ有意義だった	4	36.4%
どちらともいえない	2	18.2%
有意義ではなかった	1	9.1%
全く役に立たない	0	0.0%
計	11	100.0%

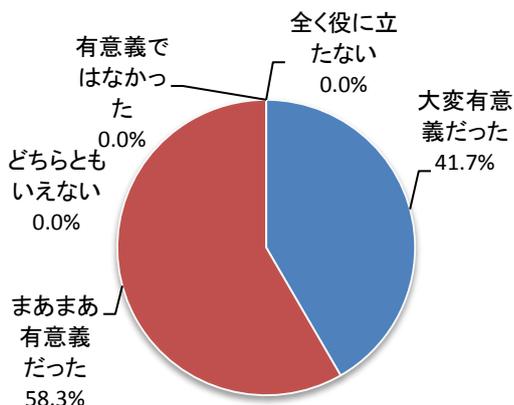


《 評価の理由 》

- ・全ての分野、学校種でグローバルな職業教育が進んでいることを理解した。
- ・ICDの教育現場での活用を考えたいと思う。
- ・専門学校のあるべき人材像に関心があるため参加
- ・専門分野の特性が異なるため、現実的に参考になる内容がそれほど多くなかった。
- ・議題で大きすぎてまとまりがつかない気がした。様々な情報は役に立った。
- ・各登録者のテーマがバラバラで全体として「グローバル化」のタイトルに合っていない！

4. クラウド時代のWebビジネスに対応した地域版ITビジネスクリエータ 学び直し教育プログラム整備と実践

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	5	41.7%
まあまあ有意義だった	7	58.3%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	12	100.0%

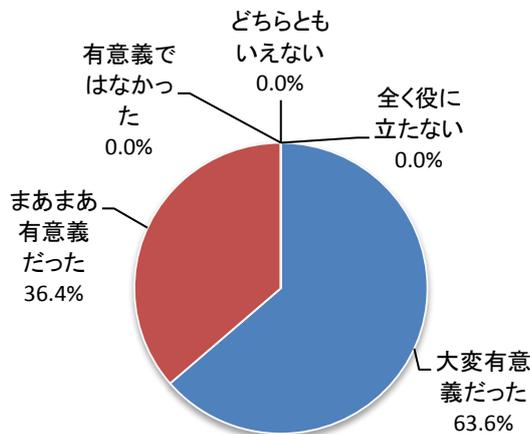


《 評価の理由 》

- ・昨年度の成果からさらに進展し、CBTの充実に驚いた。
- ・情報セキュリティ教育にCBT活用も検討したい。
- ・教材開発が一番大事であり、時代に適応した人材に必要と感じた。
- ・ネット時代の常識を広めるため効果のある取り組みをされている点、特にセキュリティを重視されていること。
- ・参画しているので難しいですが(コメントは)、コアコンピテンシーというスキルセットを明確にしたほうが良いと感じています。
- ・背景や狙いについて理解できた。

5. ビックデータに対応した中核的IT技術者養成プロジェクト 学び直し教育プログラム整備と実践

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	7	63.6%
まあまあ有意義だった	4	36.4%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	11	100.0%



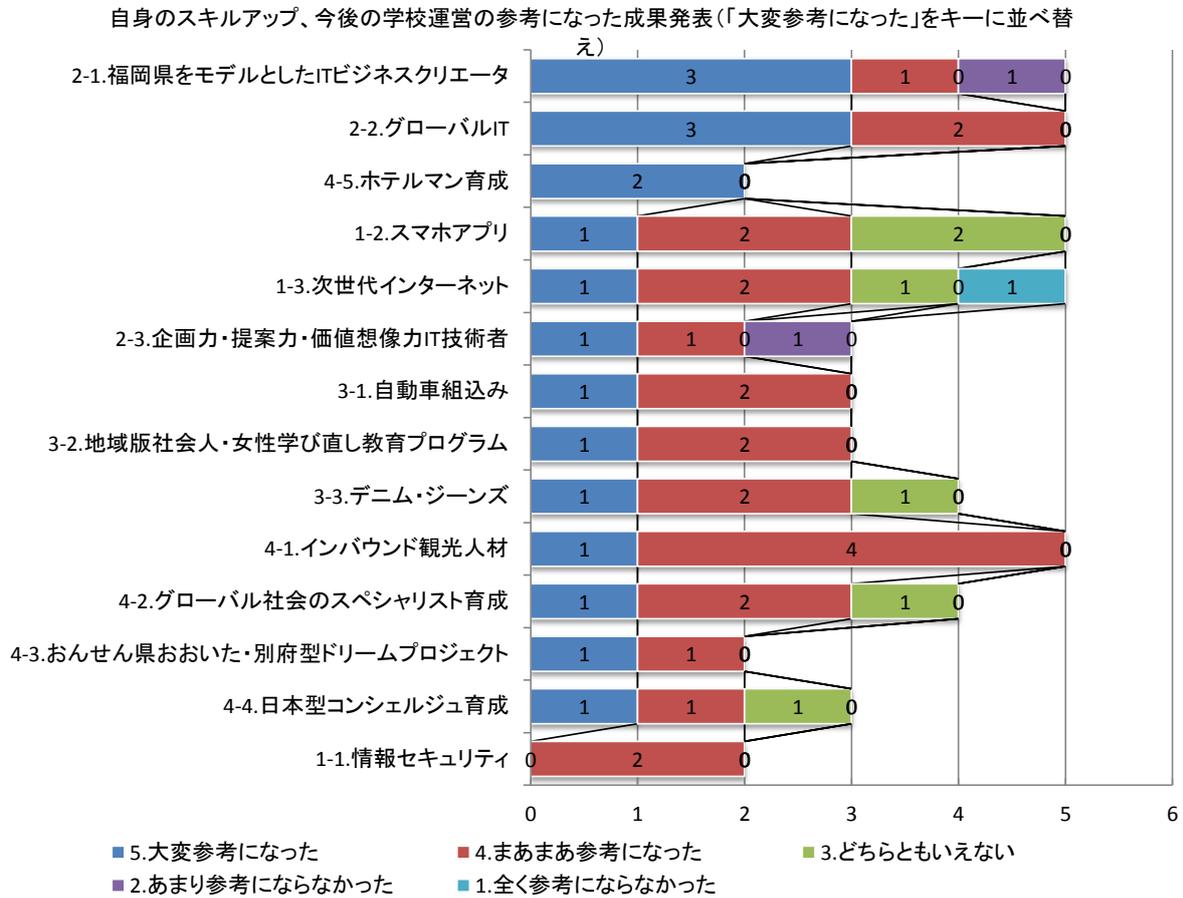
《 評価の理由 》

- ・ビックデータの定義を見間違えなければ、すぐにでも技術者育成が必要である。
- ・ビックデータエンジニア育成のアプローチを得られた。
- ・最新のトレンドに触れることができたため。
- ・とても実務的であり、実現可能性が高い教育プログラムになる期待をもてた。
- ・総花的ではあったけど、話題のビックデータ「対策」が見えた。
- ・今後の企業ビジネスモデルの変化について知ることができました。
- ・テーマとして名前だけが一人歩きしがちなテーマだと思いますが、しっかりと内容と本質をかためられていて、すばらしかったと思います。
- ・自校に適用できるか難しい…

問2. 文部科学省プロジェクトの成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(「大変参考になった」をキーに並べ替え)



(「大変参考になった」をキーに並べ替え)

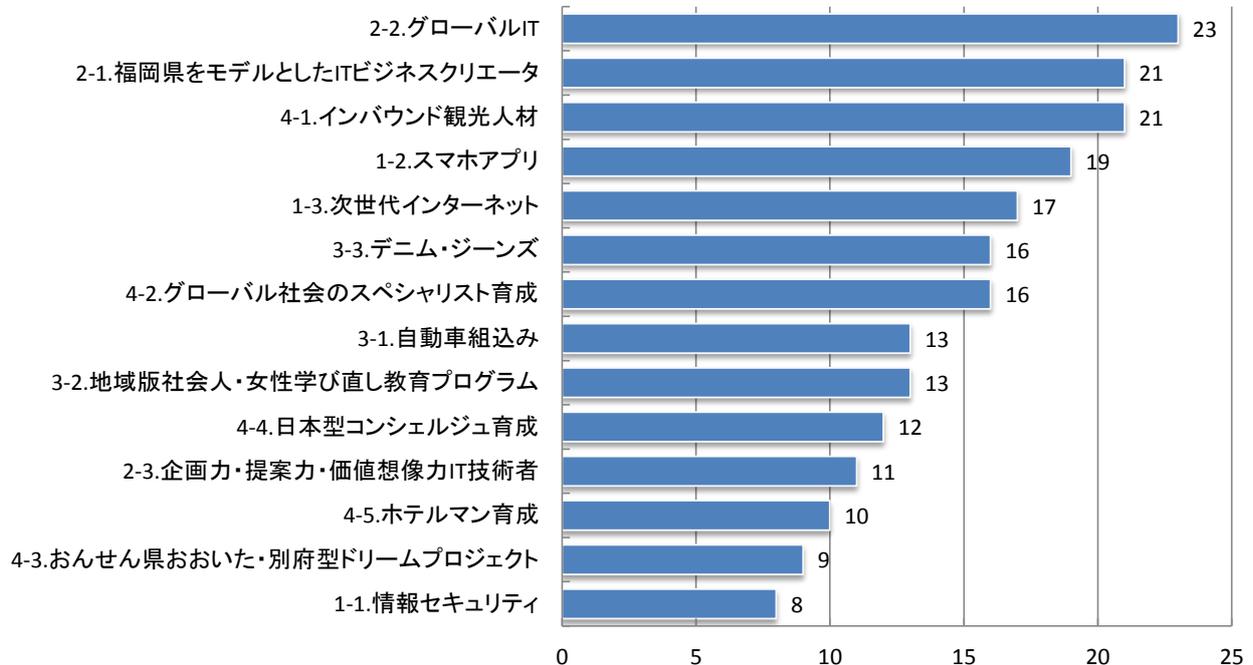
委託事業名	5. 大変参考になった	4. まあまあ参考になった	3. どちらともいえない	2. あまり参考にならなかった	1. 全く参考にならなかった
2-1.福岡県をモデルとしたITビジネスクリエイター	3	1	0	1	0
2-2.グローバルIT	3	2	0	0	0
4-5.ホテルマン育成	2	0	0	0	0
1-2.スマホアプリ	1	2	2	0	0
1-3.次世代インターネット	1	2	1	0	1
2-3.企画力・提案力・価値想像力IT技術者	1	1	0	1	0
3-1.自動車組込み	1	2	0	0	0
3-2.地域版社会人・女性学び直し教育プログラム	1	2	0	0	0
3-3.デニム・ジーンズ	1	2	1	0	0
4-1.インバウンド観光人材	1	4	0	0	0
4-2.グローバル社会のスペシャリスト育成	1	2	1	0	0
4-3.おんせん県おおいた・別府型ドリームプロジェクト	1	1	0	0	0
4-4.日本型コンシェルジュ育成	1	1	1	0	0
1-1.情報セキュリティ	0	2	0	0	0

問2. 文部科学省プロジェクト成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(順位をポイント化した総合順位)

自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表(順位をポイント化した総合順位)



(順位をポイント化した総合順位)

※ポイントとは→5.大変参考になった=5 4.まあまあ参考になった=4 3.どちらともいえない=3
2.あまり参考にならなかった=2 1.全く参考にならなかった=1

委託事業名	5.大変参考になった	4.まあまあ参考になった	3.どちらともいえない	2.あまり参考にならなかった	1.全く参考にならなかった	総合ポイント	総合順位
	(5p)	(4p)	(3p)	(2p)	(1p)		
2-2.グローバルIT	15	8	0	0	0	23	1
2-1.福岡県をモデルとしたITビジネスクリエータ	15	4	0	2	0	21	2
4-1.インバウンド観光人材	5	16	0	0	0	21	2
1-2.スマホアプリ	5	8	6	0	0	19	3
1-3.次世代インターネット	5	8	3	0	1	17	4
3-3.デニム・ジーンズ	5	8	3	0	0	16	5
4-2.グローバル社会のスペシャリスト育成	5	8	3	0	0	16	5
3-1.自動車組込み	5	8	0	0	0	13	6
3-2.地域版社会人・女性学び直し教育プログラム	5	8	0	0	0	13	6
4-4.日本型コンシェルジュ育成	5	4	3	0	0	12	7
2-3.企画力・提案力・価値想像力IT技術者	5	4	0	2	0	11	8
4-5.ホテルマン育成	10	0	0	0	0	10	9
4-3.おんせん県おおいた・別府型ドリームプロジェクト	5	4	0	0	0	9	10
1-1.情報セキュリティ	0	8	0	0	0	8	11

②参考になった、印象が強かった理由:

■1-3.

- ・ネット時代にすでに常識になっていることを、資格とかものものしく取り上げて金を使うのは税金の無駄使いとしか思えないという点で印象が強かった。
- ・取扱っているテーマについて、現時点で特に重要なスキルを取扱っている。この分野を学問的に体系をつくるのは非常に重要な取組みだと思う。

■2-2.

- ・海外学生とのチームを組んだ開発。
- ・海外連携などの取組みが印象的。

■2-3.

- ・第一章の学校と企業の違いが分かりやすくコメントされた。ビジネスにつながる情報を「発想」の原材料として商品開発をする。
- ・古賀先生他2名の方の発表であったが、パワーポイントを用意して準備をされていたのは古賀先生だけだった。ほかの二人の方は全く準備していなかった。来場された方に失礼になると思います。

■3-1.

- ・検証講座を実施して頂いたおかげで、今後授業等に使えるそうです。ありがとうございました。

■3-3.

- ・特に岡山と久留米の産地学生の交流によるC to C 地域見直しに意義があったと感じた。

■4-1.

- ・MICEビジネス人材育成の重要性が良く理解できた。
- ・e-ラーニングの経験者です。(別分野ですが) 地方の観光に興味をもつ向上心のある人材にはとても有効的だと思う。

■4-2.

- ・テストマーケティング実践(油取紙)に興味があった。
- ・実業高校の学生が専門性を体験学習により将来の職業を選択できるというシステムに対し“グローバル化”の意味を共感する。

■4-5.

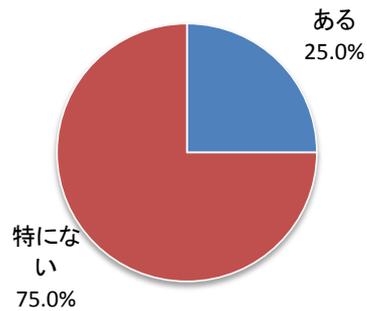
- ・入門編～アカデシク英語まで(モジュール別)インターンシップ前に動くことの意識づけ(可能性よ最大だれ)

■4-5.

- ・ビックデータ技術者の育成はとてもハードルが高いと感じました。教材を利用してみたいと思いました。

問3. 今後、文部科学省プロジェクト等で取り組みたい事業やテーマ

NO	回答	回答数	%
1	ある	2	25.0%
2	特にない	6	75.0%



具体的な内容:

- ・ALのファシリテータ研修と認証
- ・IT企業との産学連携強化
- ・eラーニング体系全体の拡大とコンテンツ充実。・物作りについては各産地毎の「企画ビジネス」が重要。生産技術の他に製品マーケティングの教育拡大を望む。
- ・地方創主！（高齢化…深刻な若手人手不足 全ての分野での発生。地域にあった人材育成）農業観光！

本会からの情報提供や連携校の紹介などのご希望がありましたら具体的にお知らせください。
なし

問4. 御校で課題となっている事項やお悩みの点、希望する研修テーマなど

- ・IT経営に対する最新事例を講義しきれていない。近未来のIT人材像
- ・調理 食品 栄養関係の「グローバル化と職業教育」
- ・学生の基礎学力の低下、自主性の低下 アクティブラーニングを授業にとり入れるには
- ・発達障害もしくはメンタル面で課題のある学生の対応について。・就職の質の向上について（学生がいわゆる大手企業をきらう傾向にある）

以上